



Japan Community
Health care Organization

SAGA CENTRAL HOSPITAL

独立行政法人 地域医療機能推進機構

佐賀中部病院



私たちは、 地域医療に貢献します。

ご挨拶

私ども JCHO 佐賀中部病院は、全国 57 病院で構成される厚生労働省管轄の独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)の一つです。JCHO グループの特徴は、健康管理センターと介護老人保健施設を併設し、急性期医療から介護、健診業務など幅広い活動を通して安心して暮らせる地域づくりに貢献している点です。当院は佐賀中部医療圏の東部に立地しており、大型ショッピングモール、住宅地、学校に近接しており、素晴らしい環境にあります。佐賀駅から車で 10 分以内とアクセスも非常に良い場所です。JCHO 佐賀中部病院は 160 床（急性期 116 床、地域包括ケア病床 44 床）で、介護老人保健施設（80 床）、訪問看護ステーションを併設しています。地域の皆様に安心・信頼していただける病院を目指し、佐賀大学・久留米大学・福岡大学の協力を受け、常勤医師 31 名により急性期医療から慢性期医療まで幅広く日々の診療を行っています。

地域に根ざした病院を目指して、職員一同日々邁進してまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

院長 園畑 素樹



病院概要

住 所：佐賀県佐賀市兵庫南 3 丁目 8 番 1 号
開 設：平成 26 年 4 月 1 日
（昭和 21 年 2 月開院の
佐賀社会保険病院より改組）

院 長：園畑 素樹
医療法定床：160 床
在籍認定看護師：
感染管理認定看護師
皮膚・排泄ケア認定看護師
認知症看護認定看護師
がん化学療法看護認定看護師

勤務体制：2 交代制
看護方式：パートナーシップ・ナースング・システム
附属施設：健康管理センター、介護老人保健施設
訪問看護ステーション

病院理念

- 一、患者さん中心の医療を行い、質の高い安全な医療を提供します。
- 二、皆様が安心して暮らせ、心の支えとなる病院を目指します。

病院方針

- 一、患者さんを中心としたチーム医療を行います。
- 二、良質な保健（健診センター）・医療・福祉（老健施設・在宅ケア）の提供を行います。
- 三、地域医療機関と密接に連携した医療を行います。

診療科のご紹介

内科

総合診療科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、脳神経内科（非常勤医師）、糖尿病内科（非常勤医師）の診療体制をとっており、内科系全般をカバーしています。

呼吸器内科

気管支喘息、COPD、呼吸器感染症、肺癌など幅広い領域にわたる呼吸器疾患の検査・診断・治療を行っています。
2023年には睡眠時無呼吸センターを開設いたしました。精密 PSG 検査については佐賀県全域から紹介を受けています。

循環器内科

心エコー検査など諸検査をもとに心臓・大血管疾患の診断と評価、治療を行っています。ホルター心電図検査については、当院で通常検査と 12 誘導心電図、ブルガダ解析が可能です。
その他、二次性高血圧スクリーニング、運動負荷検査、心臓 CT での虚血評価を行っています。
心大血管疾患患者の心臓リハビリも外来、入院で行っています。

消化器内科

主に消化管・肝胆膵疾患の診断と治療を行っています。
肝臓疾患については急性肝障害の鑑別診断から、慢性肝炎・肝硬変に対する抗ウィルス療養、食道・胃静脈瘤の内視鏡的治療、及び肝臓癌への経皮的治療や IVR まで幅広く対応可能です。
消化管出血に対する内視鏡的止血術、NBI システムによる腫瘍性疾患の質的診断、胃・大腸の ESD や EMR も実施しています。

血液内科

鉄欠防性貧血やビタミン B12 欠乏性貧血などの貧血性疾患や血小板減少症などの診断や治療を行います。
また、造血器悪性腫瘍についても拠点病院と連携をとりながら治療を行っています。

整形外科

佐賀県の基幹病院として整形外科疾患の全てを対象として診療しています。
特に手の外科・外傷、関節外科（股関節、膝関節、足関節）に力を入れています。
急患対応は、1 次、2 次救急に注力しています。
令和 6 年度より整形外科は 365 日の宿日直体制としていますので、お困りの症例ございましたら、いつでもご相談ください。

外科

胃、大腸、胆嚢、肝臓、膵臓、乳腺、ヘルニア、イレウス、腹膜炎、痔など手術対応可能です。
主に、腹腔鏡による低侵襲手術を行います。乳癌では再建を含めたオーダーメイドの治療を行っております。
切除不能、再発癌に対しても化学療法や疼痛管理なども行い患者さんに寄り添った医療を行います。

婦人科

産婦人科専門医の女性医師が産婦人科全般の初診から精密検査、治療を担当しています。子宮頸部異形成に対する LEEP、子宮内膜ポリープや過多月経に対する子宮鏡手術などの手術も行っています。
女性医学を専門としており、初経や閉経後まで、多様な症状に対して幅広く対応できる診療を目指しています。
月経異常（無月経、月経困難症、過多月経など）、更年期障害、骨盤臓器脱（子宮脱、膀胱瘤）、ピル、緊急避妊など気になる症状がある時はご相談ください。

泌尿科

排尿障害、尿路感染症、尿路結石や泌尿生殖器の腫瘍性疾患の診断治療を行っています。
まずは診療体制の確立、検診を充実させていく予定です。血尿、前立腺癌検診についてお悩みの際は御相談ください。

病理診断科

年間約 1,500 件の組織診断や年間約 6,000 件の細胞診断を行っています。

放射線科

64 列マルチスライス CT、1.5 テスラ MRI を完備しており、疾患に応じた適切な撮影や撮像を行い、迅速で正確な画像診断を心掛けています。
地域の先生方からの CT、MRI 検査依頼にも対応しておりますので、当院の地域医療連携室を通して検査予約をお願いします。

眼科

眼科一般診療に加え、レーザー治療や、入院での白内障手術を行っています。

その他

脳神経内科、形成外科、皮膚科、総合診療科

看護部のご紹介

看護部理念

私たちは、「看護によって選ばれる病院」を目指します。

ご挨拶

患者さんを中心とした医療チームの一員として、看護の役割を果たしています。そのために、常に看護部の理念を念頭において日々の実践を積み重ねています。

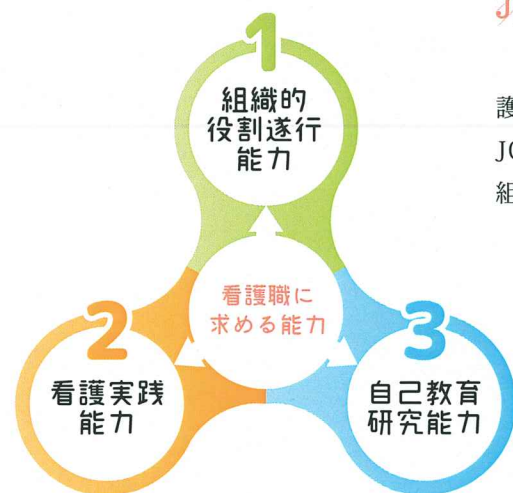
そして、更に質の良い看護の提供のために看護師自身も研鑽を重ねて成長できるよう支援していきます。

看護部長 時里 玉栄



JCHO 看護師キャリアラダー

JCHO では、多様な機能をもつ公的病院グループである JCHO で勤務する看護職の能力開発と、個人の目指すキャリア発達を支援するツールとして、JCHO 看護師キャリアラダーを活用しています。JCHO の看護職に求める能力を、組織的役割遂行能力、看護実践能力、自己教育・研究能力で示しました。



レベル V

- ① 自施設の目標達成に向けて組織改革に必要な建設的意見を提案でき、具体策を主体的に実践する
- ② より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択し QOL を高めるために看護を実践する
- ③ 単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる。主となり研究活動を実践できる。看護単位における教育的役割がとれる

レベル IV

- ① 自施設の目標達成に向けて主体的に実践する
- ② 幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
- ③ 自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究的に取り組み、後輩のロールモデルとなることができる

レベル III

- ① 所属部署の目標達成に向けて主体的に実践する
- ② ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
- ③ 自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる

レベル II

- ① 組織の一員としての役割を理解し、所属部署の目標を意識して行動する
- ② 標準的な看護計画に基づき自立した看護を実践する
- ③ 自己の課題を明確にし、達成に向けた学習活動を展開することができる

レベル I

- ① JCHO 及び自施設の理念と使命を理解し、組織の一員としての自覚を持って行動する
- ② 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する
- ③ 自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる

新人教育目的

教育計画に基づいた卒後臨床研修を行うことにより、新人看護職員が安心して安全な看護ケアを提供するための臨床実践能力を習得する。



年間スケジュール

month	
4	基礎看護技術 I 褥瘡スキンケアの予防 看護記録 I、口腔ケア、NST フォローアップ研修
5	糖尿病の知識、薬剤の知識 心電図検体検査の取り扱い
6	災害の知識
7	一次救命処置 フォローアップ研修
8	看護技術の振り返り フォローアップ研修
9	安全な輸血 フォローアップ研修
10	糖尿病看護 フォローアップ研修
11	地域包括ケア、退院支援
12	フォローアップ研修 終末期看護
1	看護記録 (II)
2	終末期看護、多重課題 フォローアップ研修
3	令和4年度修了式 1年の振り返り

各部門のご紹介

薬剤部

チームワークが自慢の職場で、先輩職員が優しく丁寧に指導します。一般調剤、注射薬調剤、抗癌剤調製、高カロリー輸液の調製、病棟業務等、幅広く薬剤業務に取り組んでいます。

また各種委員会にも参加し、チーム医療（感染制御チーム、栄養サポートチーム、化学療法チームなど）の一員として積極的に活動しています。認定取得に際しても応援します。

主な認定薬剤師

抗菌化学療法認定薬剤師
日病薬病院薬学認定薬剤師
生涯研修認定薬剤師



放射線科

診療部門では、一般撮影や透視、CT及びMRI検査を行います。検診部門では、胸部撮影、マンモグラフィ、胃透視を行います。

気軽に先輩に相談しながら仕事ができる職場です。

モダリティーごとに先輩がお手本を見せながら、1人で業務できるまで指導しています。



臨床検査科

診療と健診部門の検査を担っており、血液、生化学、免疫、一般、輸血検査の検体検査に加え、生理検査、細菌検査、病理検査と業務は多岐に渡ります。まずは全般的な業務を行えるようになった後、希望の分野で専門性を高めることが望めます。細胞検査士、輸血認定技師、血液認定技師、超音波検査士など認定資格を持つ技師が多数おり、業務のみならず認定資格取得も取り組める環境です。



リハビリテーション科

当院施設基準は、脳血管リハⅠ、運動器リハⅠ、呼吸器リハⅠ、心大血管リハⅠ、がんリハの認定を受けています。

主な対象疾患は運動器が半数を占め、次に呼吸器疾患、脳血管の割合が多いです。

先輩後輩の仲が良い職場で、研修会や学会への参加を積極的に行い、キャリアアップを図っています。

呼吸療法認定士、がん患者リハビリ研修修了者など多くの資格を取得し、各種疾患に対するスペシャリストの育成にも努めています。



栄養管理室

栄養管理室では患者様の栄養状態を評価し、一人一人に合った食事の提供に努めています。また、多職種と共同しチーム医療活動による栄養管理も行っています。

食事は治療の一環としてとても大切です。美味しく食べていただけるよう季節を感じられる行事食にも力を入れております。



健康管理センター

生活習慣病予防健診、半日人間ドック、1泊2日ドック、一般健康診断、特定健診、乳がん検診、子宮がん検診を行い、生活習慣病予防やがんの早期発見に努めています。

結果の判断には各専門の医師が健診業務に関わっており、胸部X線は呼吸器科、心電図は循環器科、胃部透視は消化器科、眼底検査・眼圧検査は眼科の医師がチェックをします。

特に胸部X線、胃部透視はダブルチェックを実施し、最終的にはセンター長が各結果より総合的に判断します。

また、特定保健指導を行っており、糖尿病療養指導士・健康管理士等様々な資格を持った保健師が健診者の皆さまの健康サポートに努めています。

健康管理センター

TEL 0952-37-0580

FAX 0952-28-5322

健康診断を受診される方の窓口受付を行いますので、電話でのお問合せは下記の時間帯にお願いいたします。

電話受付時間

午前 8:30 ~ 12:00
午後 13:30 ~ 16:30

健診コースのご案内

- ❖全国健康保険協会管掌 生活習慣病予防健診（一般）
- ❖全国健康保険協会管掌 生活習慣病予防健診（付加）
- ❖半日人間ドック
- ❖1泊2日人間ドック
- ❖定期健康診断（1コース）
- ❖定期健康診断（2コース）
- ❖定期健康診断（3コース）
- ❖定期健康診断（4コース）
- ❖その他の健康診断（オプション）
 - (1)心筋梗塞・脳梗塞 リスクマーカー（LOX-index®）
 - (2)MAST48（アレルギー検査）
 - (3)アミノインデックス リスクスクリーニング検査（AIRS）
 - (4)脳ドック
 - (5)MCI プラススクリーニング検査（認知症前段階のリスク検査）
 - (6)マイナيتينゲール検査（5つの健康指標検査）

地域医療連携室

前方連携では、地域の医療機関より年間 1,000 件以上の CT・MRI 検査の依頼を受け、できるだけ速やかに対応するよう心がけています。

また後方連携では、患者様・ご家族が安心して生活ができるように地域の医療機関、介護福祉施設、訪問看護師や介護支援専門員との連携を大切にしながら退院支援を行っております。

院外、院内における円滑なチーム医療の窓口としての役割が果たせるように努めてまいります。

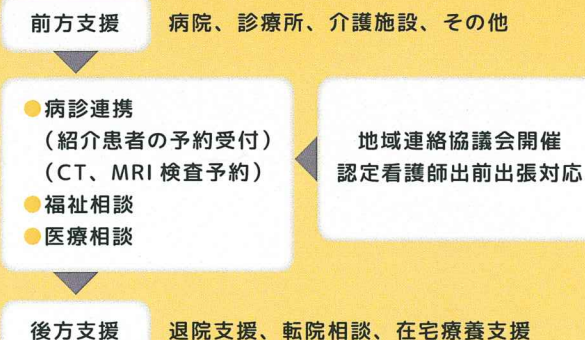


退院前カンファレンス



地域医療連携室

地域医療連携室の業務の流れ



訪問看護ステーション

看護師がご自宅を訪問し、状態観察を行い、清拭や入浴介助など療養上のお世話、床ずれ処置などの医療処置、医療機器を使用しながらでもご自宅で最期まで過ごせるよう療養生活を支援します。また、ご利用者だけでなくご家族の方の介護相談にも応じます。



その他の施設



売店



理容室



レストラン（JIJI の風）



放射線科・検査科待合



待合室（ロビー）



特定保健指導の様子





附属介護老人保健施設

TEL 0952-22-3121
FAX 0952-28-5321

介護老人保健施設

入所、短期入所、通所リハビリ、訪問リハビリ、居宅介護支援センター、包括支援センターの各サービスを行っています。

介護を必要とされる高齢者を支援し、医学管理の下、看護・介護のケアと PT・OT によるリハビリ、栄養士による栄養管理等を行い、各々に合わせたサービスを提供いたします。

入所サービス

要介護1～5の方が利用でき、家庭で自立した生活ができるよう看護・介護・機能訓練サービスを提供しています。



談話室・デイルーム

短期入所サービス

要支援以上の方が利用でき、家庭の事情等により一時的に介護ができない場合など、家族の方に代わって介護します。



中庭



個室

通所リハビリテーション

要支援以上の方が利用でき、健康チェック・日常生活動作訓練レクリエーション・入浴・昼食などのサービスを提供します。

病状が比較的安定しており、入院治療を要しないがリハビリテーション・看護・介護等のサービスが必要な方に対して、医療ケアと心身機能の改善を行い、生活の自立を支援し「家庭復帰」を目標にサービスを提供する施設です。



訪問リハビリテーション

通院や外出が困難な方のご自宅にリハビリスタッフが訪問し、住み慣れた環境でできる限り自立した生活が送れるよう、必要なリハビリテーション訓練を提供します。

- ご本人の状態にあった福祉機器や住宅改修をご提案し、ご本人・家族が安全に暮らせる生活環境のご提案ができます。
- 日常生活の中で活用できる動作方法の提案ができます。
- 日々の介護が楽にできるような介助方法のアドバイスができます。



訪問リハビリテーションセンター

TEL 0952-28-5333
FAX 0952-28-5334



居宅介護支援センター

- 各サービスを利用するための居宅サービス計画（ケアプラン）を利用者・家族（介護者）のニーズに応じて作成します。
- 必要に応じて自宅を訪問し介護や福祉等に関する相談を受け主治医や関係機関と連携し在宅生活（介護）のサポートを行います。
- 介護保険に関する申請代行や要介護認定の調査を行います。



居宅介護支援センター

TEL 0952-28-5333
FAX 0952-28-5334



佐賀市城西地域包括支援センター （おたっしや本舗城西）

- 介護に関することや心配ごと、悩み以外にも、健康や福祉、医療や生活に関することなど、何でも相談にのります。
- 地域の介護支援専門員の指導や支援のほか、高齢のみなさんにとってより暮らしやすい地域にするために、さまざまな機関とのネットワークづくりを図ります。
- 高齢者の成年後見制度の紹介や虐待、消費者被害などに対応します。
- 要支援1・2と認定された方の支援計画（ケアプラン）を作成します。

おたっしや本舗城西

TEL 0952-41-8323
FAX 0952-41-8333





ACCESS

バス利用

佐賀駅バスセンター
市営バス

行先番号 56：60

車でお越しの方

JR 佐賀駅より車で 7 分
佐賀大和インターより車で 20 分

Japan Community
Health care Organization

SAGA
CENTRAL
HOSPITAL

独立行政法人 地域医療機能推進機構
佐賀中部病院

